

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 10 回相模原市観光振興審議会				
事務局 (担当課)		環境経済局経済部商業観光課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 3 6 (直通)				
開催日時		平成 30 年 12 月 6 日 (木) 午前 10 時 00 分 ~ 11 時 45 分				
開催場所		相模原市立産業会館 4 階 懇談室 (中研修室)				
出席者	委員	5 人				
	その他	-				
	事務局	9 人 (経済部長、他 8 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 次期観光振興計画の策定にあたっての「相模原市の観光に関する基本的な考え方(案)」について ・観光振興に取り組む背景と目的 ・目指すべき将来像 ・基本理念 ・基本方針 3 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 議題（○は委員、 は事務局の発言）

内藤会長が議長となり議事を進行した。

次期観光振興計画の策定にあたっての「相模原市の観光に関する基本的な考え方（案）」について事務局から説明した後、質疑応答を行った。

・観光振興に取り組む背景と目的

主な意見等

次期観光振興計画の計画期間を8年間としているが、その理由と本市における観光振興計画の位置づけについて伺う。また、計画期間の8年間は長期にあたると思うが中間見直し等の予定について伺う。

計画期間は次期総合計画と合わせ8年間としている。観光振興計画は総合計画の部門別計画の一つと位置づけている。

また、次期観光振興計画の中間見直し等の実施については、計画期間の中間となる平成35年（2023年）を予定している。

なお、社会情勢の変化等によっては、見直し時期を早める可能性もある。

総合計画で目指しているところと観光振興計画の方向性との整合性をとる必要がある。

現総合計画についても平成31年度末をもって計画期間が終了し、現在、平成32年度（2020年度）からの次期計画の策定に向けて、準備が進められているところである。

現総合計画と終了年度を同じくする計画は、観光振興計画のほかにも存在し、総合計画策定の所管課である企画政策課が中心となり、各々の計画における方向性について整合を図っているところである。

- 次期観光振興計画の策定にあたっては、相模原市の観光の現状を客観的にとらえる必要があり、市内にどのような人が何人くらい来ているのかといった基礎的なデータを示しながら検討を進めるべきである。

現況のデータを精査し、今後、提示していきたい。

- 訪日外国人の増加に伴い、各地では現金以外の支払いニーズに対応する動きが広がっている。キャッシュレス決済のインフラ整備を観光庁も推進していることから、キャッシュレス化等の時流に乗った施策を考えるべき。

そういった視点をもって施策を検討していきたい。

・目指すべき将来像

主な意見等

外国人観光客の観光公害が問題になっている例もある、海外も含め外部からの誘客も結構だが、市内に住んでいる人も観光客としてとらえ、ターゲティングしてもいいのではないか。

南区にお住いの方が緑区に観光に訪れるといったことも十分に考えられる。

また、そういったことで自分たちが住むまちの新たな魅力を知ることができ、地域への愛着も増すものとする。

・基本理念

主な意見等

現観光振興計画の基本理念に「ひと」を加えたものとなっているが、これからの観光振興では、「ひと」が重要な要素となってくることから良い着眼点だと思う。

・基本方針

主な意見等

- リニアを核とした近代都市として、相模原ブランドを形成していくべき。市内には大学も多数存在するので産学官連携も積極的にしていくべき。
地域主導型の推進体制づくりの中で、地域団体の具体的な役割は。
現在、地域の協議会等からの意見を聞いているところである。行政や観光協会の役割、地域の役割等について、頂いた意見を参考にしながら整理していきたいと考えている。
- 現在、5市（相模原市、八王子市、あきる野市、大月市、都留市）で連携し、観光プロモーション等に取り組んでいるとのことだが、これからこういった連携を増やしていく予定はあるのか。近隣市との連携ということで観光における町田市との連携はどのようになっているのか。
今後も広域的な連携について進めていきたいと考えている。
町田市との連携については、現状では市民まつり（桜まつり）の相互出展を行っているのみなので、更なる連携について検討していきたい。
- 昨今自然災害が増えているが、外国人観光客も含め観光客への災害対応についてどのように考えているのか。
相模原市の防災計画はあるが、観光客に特化したものはない。今後、対応について検討していく必要があると考えている。
- ハード面の受入体制だけを整備していくのではなく、HPやアクセスマップ等のソフト面の受入体制も整備していくべき。
- 相模原市の観光の場合、その場所に行きたくてもどのようにすればたどり着け

るのか分かりにくいことがある。

観光誘客にあたって、分かり易さは重要な要素と考える。例えば観光スポットまでの道順、交通路線、運航ダイヤ、周辺の店舗情報などを誰が見ても分かり易く伝えることだけでも誘客に繋がるものとする。

内閣府が進める政策の「Society 5.0」などが参考になると思う。

参考 https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

- 全体を通して、抽象的な表現が多く具体性に欠けるので次回はデータや施策等を具体的に提示すべき。

今回は基本的な考え方や基本方針を提示させていただいた。具体的な施策等は、今回は省いている。次回の審議会では、今回の意見を踏まえた上で、出来る限り具体的に提示したい。

・その他

次回の観光振興審議会は3月19日(火)14時から開催することを決定し閉会。

以 上

相模原市観光振興審議会委員出欠席名簿

区 分	氏 名	所属団体等		備考	出欠席
		名称	役職等		
学識経験者 ・ 専門 家	内藤 錦樹	桜美林大学	名誉教授	会長	出席
		観光振興アドバイザー			
公 募 委 員	高橋 陽子	公募委員			出席
関 連 団 体	北村 美仁	(一社)相模原市観光協会	専務理事	副会長	出席
	大貫 幸雄	大島観光協会	会長		欠席
	佐藤 泉	相模湖観光協会	会長		欠席
	関戸 昌邦	津久井商工会	会長		欠席
民 間 事 業 者	洪水 敏孝	(株)J T B 相模原支店	支店長		欠席
	高堂 智佳	東日本旅客鉄道(株) 橋本駅	駅長		出席
	福重 隆一	相模湖リゾート(株) (富士急行(株))	専務取締役		出席